RS05型 スプレーガン 取扱説明書 I

はじめに

◯ この取扱説明書はスプレーガンを安全にご使用いただくための注意事項を記載しています。
　ご使用になられる前には本書をよくお読みになり、十分理解してからご使用ください。
◯ 取扱説明書はすぐに確認できる場所に大切に保管してください。
◯ チューリップ及びストレートパターン用の取扱説明書です。
　メタリック・パール用スプレーガンは、取扱説明書Ⅱを、お読みください.

型 式

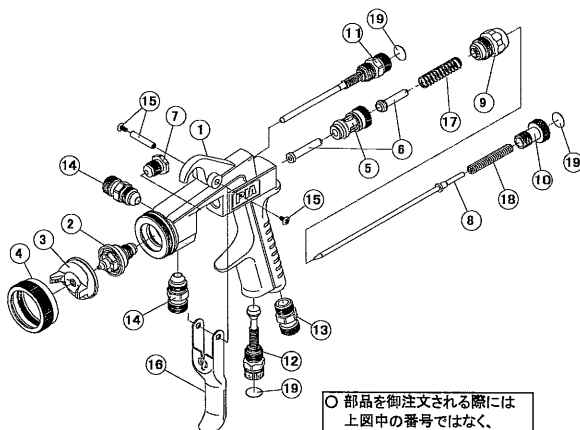
仕 様

型 式		塗料ノズル口径 (mm)	適用エアキャップ	塗料噴出量 (ml/min) 0.2MPa	パターン開き (mm) 0.2MPa	重量 (g)
重力式	907-05GT-10	1.0	NR1	100	190	314
	907-05GT-13	1.3	NR2	170	230	
	907-05GT-15	1.5		180	240	
吹上式	907-05ST-13	1.3		135	225	
	907-05ST-15	1.5		145	230	
	907-05ST-18	1.8	NR3	210	270	

注）噴出の条件は下記の通りです
　塗料粘度　10秒/FC#4
　吹付距離　200mm

塗料ニップル　G1/4
エアニップル　G1/4

部品リスト

NO.	部品名	部品コード	
1	本体 RS05GT	907-PT05	01
	本体 RS05ST		02
2	ノズルチップ 1.0		10
	ノズルチップ 1.3		13
	ノズルチップ 1.5		15
	ノズルチップ 1.8		18
3	エアキャップ NR1		31
	エアキャップ NR2		32
	エアキャップ NR3		33
4	キャップナットセット		41
5	バルブブッシュセット		43
6	エアバルブセット		45
7	ニードルパッキンセット		47
8	ニードル 1.0		51
	ニードル 1.3/1.5		52
	ニードル 1.8		53
9	バルブエンドセット		55
10	ニードルツマミ		57
11	パターンセット		63
12	チータセット		65
13	エアニップル		67
14	ペイントニップル		69
15	トリガーピンセット		71
16	トリガー		73
17	バルブスプリング		75
18	ニードルスプリング		77
19	マークプレート		93

○ 部品を御注文される際には
上図中の番号ではなく、
部品表の「部品名」または
「部品コード」を連絡ください。

⚠ 安全に関する警告事項

火災と爆発

1. 塗料は引火性があり火災の危険性があります。換気の良い場所で作業してください。
2. タバコ、電気機器等、引火の恐れがあるものの近くでは使用しないでください。
   また、静電気の発生にも十分注意してください。

人体保護

1. 吹きつけ作業は塗装ブースを使用するなど、換気の良い場所で行ってください。
   有機溶剤中毒の危険性があります。
2. 塗装や機器の洗浄時には適切な保護具(眼鏡、マスク、手袋など)を着用してください。
   目や皮膚に炎症を起こす危険性があります。

機器誤用

1. 絶対に人体に向けてスプレーしないでください。
   目や皮膚に炎症を起こす危険性があります。
2. 分解などの保守作業をする場合は塗料を抜き、必ず圧縮エアを遮断し、ガン内部のエア圧力を抜いてから行ってください。
   重大な人身事故の原因になります。
3. 絶対に最高使用圧力(0.69MPa)以上で使用しないでください。
   機器の破壊とともに重大な人身事故の原因になります。

その他

1. 絶対に製品の改造はしないでください。
   機器の破壊とともに重大な人身事故の原因になります。

操作方法

1. スプレーガンに供給するエアはエアフィルター、エアドライヤーを通した清浄なエアを使用してください。汚れたエアは塗装不良の原因になります。
2. 塗料カップ及びエアホースはスパナなどを使用して、確実にスプレーガンに取り付けてください。
3. 初めてご使用される際には、ニードルパッキンを少しづつ締め込み、ニードルの戻りが悪くなったところから少しだけ緩める程度に調整してください。
4. 初めてご使用される際には、カップにシンナーのみ入れて吹き出しを行い、塗料通路内部の油分を取り除いてください。
5. 塗料カップに塗料を入れ、スプレーガンの試し吹きを行い、空気量、塗料噴出量、パターン幅などを調節してください。
6. 供給エア圧力は 0.2～0.3MPa の範囲で調節してください。
   ＊供給エアの取り出し口圧力が 0.3MPa の場合、内径 8mm のホース長さが 10m でスプレーガンの手元圧力は 0.2MPa 程度に減圧します。
7. 通常エア量調節ネジ(⑫チータバルブ)を全閉より1回転以上、塗料噴出量調整ネジ(⑩ニードルツマミ)は全閉より 2.5～3.0回転で調節してください。
8. パターン幅をパターン調整ネジ(⑪パターンツマミ)で調節してください。
9. 吹付け距離は通常 150～200mm、ムラ取り時には 200～250mm の範囲にして、塗装面に垂直に向け、一定速度のストロークで塗装してください。
10. スプレーパターンの重ね幅は通常 3/4 程度にするのが最適です。

保守・点検

1. スプレーガンを良好な状態で使用できるように、毎日清掃と潤滑を行ってください。
2. スプレーガンの洗浄はきれいな溶剤を浸したブラシやウエスなどで行ってください。

⚠ 注意	スプレーガン全体を溶剤中に浸さないでください。 動作不良や機器破損の原因になります。

3. 塗料通路の洗浄は塗料カップに少量の溶剤を入れて吹き出してください。
4. ノズルチップ②とエアキャップ③は分解し、溶剤に浸した後に洗浄してください。

⚠ 注意	ノズルチップの中心穴とエアキャップ角部の穴は 絶対にキズを付けないようにしてください。

⚠ 注意	ノズルチップの分解はニードルツマミを取外し ニードルを引いてから行ってください。

5. ニードルパッキンセット⑦の調整はトリガーを引きながら行ってください。
   締めすぎるとニードルの動作不良の原因になります。
6. スプレーガンの良好な動作を維持するために、いくつかの部品には注油が必要です。植物性で塗料をはじかない油を注油してください。
   〔給油部〕 ニードルパッキンセット⑦とニードル⑧間の摺動部
   パターンセット⑪、チータセット⑫の可動ネジ部
7. ニードルツマミ⑩のネジ部には焼き付き防止のため、非シリコン系のグリスを少量塗布してください。
8. パターンセット⑪及びチータセット⑫の分解は、先端保護のためツマミを全開状態にしてから取り外ししてください。

⚠ 注意	スプレーガンを分解し、再度組み立てる場合には 部品にゴミが付着しないように気を付けてください。

⚠ 注意	スプレーガンを分解する際には、各部品の寸法に 合った工具(スパナ、レンチ)を使用してください

故障の原因と対策

現　　象	原　　因	対　　策
息つぎ	1.ノズルチップの緩み、キズ、ゴミかみ 2.ノズルチップと本体のシート部のキズ 3.ニードルパッキンの摩耗 4.塗料不足、塗料カップ継ぎ手の緩み	1.ノズルチップを分解清掃して再締め付けする 2.ノズルチップは交換(本体は交換不可) 3.ニードルパッキンセットを交換。 4.塗料補充、継ぎ手増し締め
片寄り	1.エアキャップの角穴の一部に異物が つまっている 2.ノズルチップ先端穴に異物が付着している 3.ノズルチップ先端穴の変形、キズ	1.エアキャップを清掃し、異物を除去する (針や針金など硬いものは使用しない) 2.ノズルチップを清掃し、付着物を除去する 3.ノズルチップ交換
三日月	1.エアキャップの角穴の一部に異物が つまっている	1.エアキャップを清掃し、異物を除去する (針や針金など硬いものは使用しない)
中くびれ 中太り	1.塗料粘度が不適合 2.塗料吐出量が不適合 3.供給エア圧力が不適合	1.塗料粘度を調整する 2.ニードルツマミを回し吐出量を調整する 3.供給エア圧力を調整する
ノズルチップ先端部 より塗料もれ	1.ノズルチップとニードルのシート部に異物 が付着している 2.ノズルチップ、ニードルの摩耗、キズ 3.ニードルパッキンの締めすぎ 4.ニードルツマミの開けすぎ	1.清掃し、付着物を除去する 2.ノズルチップ交換 3.ニードルパッキンを調整する 4.ニードルツマミを調整する
ニードルパッキン部 より塗料もれ	1.ニードルパッキンの摩耗 2.ニードルパッキンの緩み	1.ニードルパッキンセットを交換。 2.ニードルパッキンを調整する
塗料が吐出しない	1.ニードルが固着している 2.ニードルツマミの閉めすぎ	1.ノズルチップ、ニードルを分解清掃する 2.ニードルツマミを調整する
ノズルチップ先端部 よりエアもれ	1.エアバルブに異物がつまっている 2.エアバルブの戻りが悪い	1.清掃し、付着物を除去する 2.エアバルブ摺動部に注油する

PIA ピーアイエー株式会社
Paint Instrument & Accessories
大阪営業所　〒555-0033　大阪市西淀川区姫島 3丁目 1番47号
TEL.(06) 6473-1564　FAX.(06) 6478-3170
東京営業所　〒136-0076　東京都江東区南砂 2丁目37-2
TEL.(03) 3699-0811　FAX.(03) 3640-9000

08. 05. 08